

平成19年5月31日

受託研究審査委員会第2委員会
委員長 是恒 之宏

受託研究審査委員会の結果について

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第4条第1項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第5条第1項および同第5条第3項に基づき、平成19年5月22日審議を行った。

新規自主研究「HIV陽性者からみたHIV検査の問題点に関する質的研究」、「HAART著効例における末梢CD4陽性Tリンパ球中の残存プロウイルス量とその転写活性の把握」、「リトナビル併用アタザナビル療法における高値血中濃度患者を対象としたリトナビル非併用アタザナビル療法への移行臨床試験」、「TS-1単独またはTS-1/CDDP併用治療に抵抗性となった進行・再発胃癌に対する二次治療の無作為化第Ⅲ相試験；CPT-11単独療法とPaclitaxel単独療法およびTS-1併用療法の2nd line化学療法としての意義に関する試験」、「進行・再発乳癌に対するTS-1+Trastuzumab併用療法の第Ⅲ相臨床試験」、「乳がん術前化学療法の奏効性および有害事象にかかわるバイオマーカーの解析」、「ゲムシタピン耐性胆道がんにおけるS-1の臨床第Ⅲ相試験」、「HIV感染者における薬物使用に関する研究」、「抗HIV薬の女性の服薬に関するアンケート調査」については修正の上承認とした。

継続自主研究7課題については、特に問題なく継続実施を承認した。